

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区！
 TEL.
 協力：西野川小・野川中PTA、野川小、南野川小、
 おやじの会、すずの会、一葉会、青少年指導員、
 地区民児協、地区社協、野川こ文ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局
 代表



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



あいさつ運動を始めてから11年目、子どもたちの思いに応じて「あいさつの輪」、
 さりげない「お節介の輪」の拡がりを通じて、信頼と支え合う“絆”づくりを皆さんの手で！

あいさつ運動の広がり

野川中学校 教頭 沖野 浩

「おはようございまーす」

朝練（部活動）をする生徒の皆さんから、元気なあいさつの声が出迎えてくれます。日常の学校生活の中で、あいさつが自然に交わされることの大切さを改めて感じています。

さて、漢字で書いた挨拶の「あい」は「開く」、「さつ」は「迫る」という意味で、「心を開いて相手に迫ること」があいさつの大意。とはいえ、この挨拶という言葉は、もともと日本にはなく、鎌倉時代後半、当時の中国から禅宗と呼ばれる仏教の宗派が日本に伝わるとともに入ってきたようです。それはやがて相手への敬意や親しみを込めたあいさつの言葉へ転じていったのでしょう。

野川中では、町内会・自治会や民生委員さんなど地域の方々に支えられ、朝のあいさつ運動が定着しています。そして今年、生徒自身の発案から、下校時のあいさつ運動も始まりました。「さよならプロジェクト」とネーミングされた「あいさつ運動」の広がりです。

その人のあたたかさが伝わる！

西野川小学校 児童支援コーディネーター 田中愛紀乃

今年度から、西野川小学校に赴任して、緑を楽しみながら、自転車通勤をしています。

野川地区に入ってしまったらと、毎朝ご自宅の前で立っていらっしゃる年配のご婦人がいました。最初は会釈のみでしたが、そのうちに「おはようございます」と声をかけあうようになりました。けれど、梅雨に入って1週間ほど、全くお見かけしない時期がありました。（どうしたのかな？体調をくずされたのかな？）と心配になりました。7月に入ったある日、いつものように笑顔で手を振って「いってらっしゃい。」と言ってくださる姿を発見しました。私もほっとしながら、「行ってきます。」と返しました。お互い、名前も素性も全く知らない者同士ですが、あいさつだけでその人のあたたかさが伝わりました。

野川地区のあいさつには、そんなあたたかさを感じます。あたたかいあいさつ運動に見守られて、子供たちは本当に幸せです。いつもありがとうございます。



西野川小学校の朝のあいさつ運動

地域の風物詩“寿楽園納涼祭”

第11回を迎えた寿楽園納涼祭、今年も県吹奏楽コンクールで金賞に輝いた野川中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏で、会場は一気に盛り上がりを見せ、延べ600名を超える人が参加。

この日を楽しみにしていた入居者とその家族のにこやかな顔と顔！、そして近隣の親子連れも浴衣姿も多くみられ、それぞれ夏の夕べを満喫していました。

模擬店コーナーでは、今年初めて共催者の野川台自治会が焼きそばづくりに挑戦。早くから仕込みに力を注いでいましたが、人気が高く、一時間余りであっという間に完売、そして幼児に人気のゲームコーナー、飲み物コーナー等々祭りを盛り上げ、人と人とのつながりを大切にしたい心温まる夕べでした。

最後は、恒例のフィナーレ！毎年、施設の新人による「よさこいソーラン」で締め、地域の夏の風物詩として定着した納涼祭でした。（事務局）



焼そばに挑戦！



フィナーレ「よさこいソーラン」



支え合う地域コミュニティづくりを

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



大地震に備えて防災訓練！

近所のネットワークづくりの大切さ

9月3日、野川地域の小・中学校4校の避難所運営会議主催の「防災訓練」が、野川地区各町内会・自治会等の協力の基に開催されました。

野川中学校の体育館では、野川台自治会が中心になって、中学校、野川西団地自治会、PTA、おやじの会、野川分団などの協力を得て、400名を超える老若男女が参加し、炊き出し、シェイクアウト訓練、投光器取扱訓練、出前講座、仮設トイレの組立、防災クイズさらには、避難所でのベッドの扱い等を通じて備えの大切さを共有しました。

特に今回は、女性の視点からの防災・減災の出前講座、川崎市男女共同参画センターの脇本さんから、お話を頂きました。スライドを通じた過去の被災地の避難所になった学校の体育館の様子、安否確認の大変さ、避難所生活の気配り等の心得、乳幼児世帯等の女性専用ルームの必要性等のお話があり、やはり日頃の近所のネットワークづくりの大切さが浮き彫りになりました。（事務局）



防災訓練会場へ



シェイクアウト訓練

今日も笑顔で1日がスタート

野川小学校 教頭 松浦 徹

「おはようございます。」野川小正門には、登校時日替わりでクラスの子供たちが並び、気持ちのよいあいさつが響き渡ります。

私が4月に赴任し最初に見たときには、とても感動し心が温くなったことを今でも覚えています。学校長・教職員はもちろん、民生委員の方々をはじめ地域の方々や保護者の方もこの運動に賛同頂き、十数年もの長い間続いていることにも驚かされました。

子供たちの様子は、元気に最高の笑顔であいさつを返す児童もいれば、少しはにかみながらなど様々ですが、あいさつをすることにより「今日もがんばろう」というパワーがわいてきます。このような素敵な活動は代々受け継がれ、今では4月に入学した1年生も元気に朝のあいさつ運動を行っています。

地域の皆様、どうぞお近くにお寄りの際はぜひご来校ください。

きっと元気な朝のあいさつから素敵な1日がスタートできると思います。



野川小学校の朝のあいさつ運動

つなぐ言葉、ひろがる輪

南野川小学校 教頭 近藤由起子

毎朝、正門や南門であいさつをしていると、元気な声のあいさつ、上り坂や上り階段で疲れてしまった声のあいさつ、ちょっと口が動いたかなあと言うあいさつ、いろいろなあいさつがあります。今日の調子を見取りながら、こちらもあいさつをしています。あいさつの後に、「あのね。」と話が始まることもしばしば。「おはようございます。」「こんにちわ。」は人と人をつなぐ、素敵な言葉であることを実感する日々です。

地域の方が、一緒に朝のあいさつ運動に加わっていただける日は、子どもたちの意識も上がるようで、いつもよりちょっと声が大きいくように感じます。いろいろな方々に見守られていること、気にかけていただいていることを改めて認識しているのでしょう。「あら、素敵な〇〇ねえ」と声を掛けられた時のほにかむ笑顔からも伝わってきます。

学校・地域・家庭で、あいさつ運動の輪が大きく広がっていくよう、日々の取り組みをこれからも大切にしていきたいです。



南野川小学校の朝のあいさつ運動



ひとことで みんなの顔に 花がさく

—— 人と人との心をつなぐ ——



あいさつは 心の中にある宝物!

— 野川地域の三つの小学校の児童の声 —

西野川小学校

✳ 私はあいさつ運動が気持ちいいと思いました。なぜなら私は以前、おはようと言う勇気がなくてただおじぎをして通っていただけでした。でもこのあいさつ運動を通して、あいさつができるようになってうれしかったです。 (5年 逸見 百香)

✳ 私は、あいさつ運動を通して、地域の人たちと親しくなれたと思います。小さい時は勇気がなくて、なかなか近所の人にあいさつが出来なかったけれど、今はあいさつすると笑顔で返してくれて、とても温かみを感じます。 (5年 佐藤 彩奈)



地域の人にもあいさつ!



PTAや地域の人も参加!

野川小学校

✳ あいさつには、まほうがあります。それは「自分も相手も気分が良くなる」ことです。私は、あいさつが好きです。あいさつのまほうは元気がないときも私に元気をくれます。あいさつをしないとしないでは、とても変わってきます。あいさつは人と人をつないでくれるとても大切なものです。 (6年 関 愛和)

✳ あいさつには、とてもすごい力があります。朝、「おはようございます。」と言うと、気持ちがすっきりした朝をむかえられます。また相手もうれしくなって、仲良くなれるかもしれません。それに、「ありがとう」もあいさつです。あいさつは、誰でも心の中にある宝物です。 (6年 松原 萌菜)



ふれあい委員も!



民生児童委員もおはよう!

南野川小学校

✳ この企画運営委員会では、南野川小のみんなにあいさつ運動をしてもらうように声をかけています。その中で大切にしていることは、楽しくやってもらうことです。「遊びたい」、「めんどくさい」気持ちはだれにでもあります。でも、一度だけでも参加してもらって、楽しさを知ってもらいたいです。だからこれからも声をかけます。 (6年 中平 花奈)

✳ 私は、今年あいさつ運動をやって、一年生から六年生までのみんなとあいさつを通して仲良くなることができました。あいさつをする事で誰とでも仲良くできることが、とても良い事だと思いました。

私は今年企画運営委員会に入って、あまりできなかったあいさつができるようになって嬉しいです。中学生になっても頑張りたいです。 (6年 安本 愛琉)



おはようございます!



民生委員も参加!

「さよならプロジェクト」の立ち上げ!

野川中学校 部活動長 3年 和田 百音

私たちは、日頃から活動場所や必要な道具などを、学校から貸してもらったり買ってもらい、当たり前のように部活動をしています。みんなから応援される部活動になるためには全力で部活動に取り組むことも勿論大切ですが、他に何か学校のために出来ることはないかと考えた時に思いついたのが、「さよならプロジェクト」でした。最終下校10分前に各部活動が日替わりで正門に集まり、下校する生徒に「さよなら」と挨拶をする活動です。当初は元気に挨拶してくれるのか不安でしたが、参加してくれたどの部活動も元気で「さよなら」とあいさつをしてくれて、良い雰囲気の下校時のあいさつ運動をすることができました。これからも「さよならプロジェクト」を続けていくことで、部活動以外の多くの場面でひとり一人が自然に挨拶ができる学校にしていきたいです。



朝のあいさつ!



さよならプロジェクトの立ち上げ!

学校と地域のつながり

学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

いこいの家で やすらぎコンサート!

カモメの水兵さんの唄に合わせて“赤あげて”、“白あげて”の手旗信号の遊び、この光景は、お年寄りと親子の微笑ましいふれあいのひとコマです。



“赤あげて” “白あげて”

一階の野川いこいの家と二階のこども文化センターとの交流事業として、昨年からはまりました。



ママさんバンドの演奏

今回は、高齢者15名と9組の乳幼児とお母さんが参加。“ママさんバンド”「おとのわぐま」の皆さんをお迎えし、素敵なバイオリンやピアノ演奏などもあり、参加された方にとって楽しいコンサートになりました。興味深々の幼児のしぐさ!そして子育ての時を思い出し、「可愛いく、愛らしく、エネルギーをいただいたわ!」、「皆さんの演奏が楽しく、パリジェンヌが、この野川に現れるとは…!」などの声が聞かれました。(いこいの家、こども文化センター共催)

走り幅跳びで 関東大会に出場!

陸上部は、70名近い大所帯、種日はトラックとフィールド。日々、自己記録更新を目指し、走行、ドリル練習等に励む。そんな中で、「1年女子走り幅跳び」で、市大会で優勝、県大会でも三位の好成績、そして関東大会に出場する快挙!当日健闘したものの、惜しく



県大会三位

も決勝へのエントリーには至らず、でも試技で一回目4m56、次いで4m63、4m63とコンスタントの成績で注目されました。彼女は助走、踏切、跳躍のなかで、踏み切った後のジャンプ力になにか天性のものがあるようで、過日の試合では4m72の自己ベスト。将来が楽しみな選手の一人とされています。その陰には、同じ走り幅跳びの2年生の先輩はもとより、多くの部員から色々教えて頂き、自らも切磋琢磨して、自分の今日があると思っているとの話を伺いました。

(顧問、大石、助川、藤原の各先生)

「シャトレゼ」で楽しい職場体験!

朝、スタッフと同じに駐車場の清掃を済ませ、“いらっしやいませ”とにこやかにお客様にごあいさつ。南野川にある洋菓子店「シャトレゼ」で、野川中の生徒さん二人の職場体験の一日の始まりです。



お菓子の包装

20種類ものケーキの名前を覚えるのに思った以上に大変、二日目には、ショウケースにケーキを並べたり、注文のケーキを箱詰めしたり、その間お客様と何気ない話が出来ようになり、わずか二日間でしたがスタッフの明るい雰囲気の中で素晴らしい職場体験に満足感一杯!。そばにいたチーフの高橋さんは、一日目と二日目とは、あいさつの仕方を見ても雲泥の差がありましたねと笑顔で!、帰り際、スタッフとして一緒に働いてほしいですねと、嬉しいお話を頂きました。

(スタッフは、高橋チーフほか)

関東大会で水泳部、大活躍!

プールのない野川中学校に水泳部があります。6名の水泳部員は、それぞれのスイミングクラブに所属し、朝練をしてから登校。日頃は、なかなか



祝 関東大会出場!

一緒になれませんが、大会前は、必ずミーティングを重ね、当日は“野中の水泳部”の意識をもって、お互いに応援席でタイムを取りあい、必ず選手に伝えるなど気配に努めています。今年の横浜国際プールで開催された全国・関東大会県予選会では、100m女子自由形で1年生が、予選を4位で通過し、決勝進出を果たしましたが、全国出場の「標準記録」59秒5にはほんのわずかに届かない1分00秒のすごい成績。また、自由形400mリレーでは、今まで試合に出る機会の少なかった選手も力を発揮し、栄誉ある6位に入賞。みんなで喜びを分かち合いチームワークの大切さを学んだ一日でした。

(顧問は、福永、大坂、紅野各先生)

編集後記

今回は、野川中学校区内の小・中学校4校の児童・生徒及び先生方に執筆を頂きまして、他の地域にはあまり見られない「あいさつ運動」の状況を紹介させていただきました。ご協力ありがとうございました。(日高、原、狩山、櫻井、辻本、前之園)